

トリチウム水タスクフォースの設置について

平成 25 年 12 月 11 日

汚染水処理対策委員会事務局

1. 概要

- (1) 今般とりまとめる予防的・重層的な汚染水処理対策において、トリチウム水の取扱いについては総合的な評価を、本委員会の下にトリチウム水タスクフォースを設置して検討することとした。
- (2) これを踏まえトリチウムについて、①分離・貯蔵技術の成立性、②貯蔵や放出のリスク、③海外での規制等について、専門的に検討し、複数の選択肢について総合評価を行う（関係者間の意見調整や選択肢の一本化を行うものではない）。
- (3) 議論・資料は原則公開する。年内に検討を開始し、年度内を目途にとりまとめる。また海外の専門家も招聘し意見聴取を行う。

2. タスクフォース構成

トリチウム水タスクフォースの構成は、次のとおりとする。なお、必要に応じて、メンバーの追加を行う。

柿内 秀樹	(公財)環境科学技術研究所研究員
高倉 吉久	東北放射線科学センター理事
立崎 英夫	(独)放射線医学総合研究所 REMAT 医療室長
田内 広	茨城大学理学部教授(生物科学領域)
野中 俊吉	生活協同組合コープふくしま専務理事
森田 貴己	(独)水産総合研究センター研究開発コーディネーター
山西 敏彦	(独)日本原子力研究開発機構 核融合研究開発部門 ブランケット研究開発ユニット ユニット長
山本 一良	名古屋大学理事(教育・情報関係担当)・副総長(汚染水処理対策委員会委員)
山本 徳洋	(独)日本原子力研究開発機構 再処理技術開発センター 副センター長 (汚染水処理対策委員会委員)